

令和4年度 青森県主催 オンラインインターンシップ実証事業 成果報告会

- ・入室されましたら、マイクをミュートにしてお待ちください。
- ・対話の時間がありますので、可能であればカメラはオンでご参加ください。
- ・お名前を「●●@企業名」等にしてください。
- ・ご質問などありましたらチャット欄をご活用ください。

2023.3.7(火)15:00-16:30

オンライン開催

—— 今日の流れ ——

- ① 15:00-15:05 開始・開会あいさつ
- ② 15:05-15:15 事業報告・ インターン内容の共有
- ③ 15:15-16:00 実証参加企業・学生による成果発表
- ④ 16:00-16:25 参加企業によるディスカッション
- ⑤ 16:25-16:30 閉会

イベント開催にあたってのお願い

- ・ マイクはこちらからお願いする時以外はミュートにしてください。
- ・ カメラは原則オンでご参加ください。
- ・ ブレイクアウトルームに分かれて、参加者企業同士話す時間があります。
- ・ 集合写真撮影の際も、お顔を出していただくと嬉しいです。
- ・ 記録のため、Youtubeのプライベート動画で録画しております。
- ・ お名前を「氏名@企業名」等にしてください。「例：辻正太@BOLBOP」
- ・ 質問などは、チャット欄をぜひ有効に活用してください。
- ・ 終了後、アンケートへのご協力お願いいたします。



事業報告・インターン内容共有

◆事業背景と解決の方向性

コロナ禍における採用（就職）活動の制限
企業・学生の接点の減少
青森県と首都圏との情報格差の拡大



インターンシップのオンライン化を軸とした
県内企業の採用活動のデジタル化による接点の確保
オンラインコミュニティ上での母集団形成

◆具体的な実施内容

プログラム構築

- 大学生と協働しながら、事業者独自の、魅力的なオンラインインターンシッププログラム（3 DAYS～5 DAYS）について検討し、設計まで行う。
- 募集の2～3か月前から、2～3回のオンラインミーティングを実施して内容検討。

実証実施

- 実施1～2か月前から、就職活動中の学生を募集し、オンラインインターンシッププログラムを実証実施（9月/2月頃）する。（運営に学生も協力）
- 参加学生の募集等についても、学生のアドバイスを受けながら進める。

報告会

- 実際にオンラインインターンシッププログラムを実施したうえで、見えてきた成果や可能性、課題について、県内事業者に共有し、地域全体として採用力の底上げを図る。

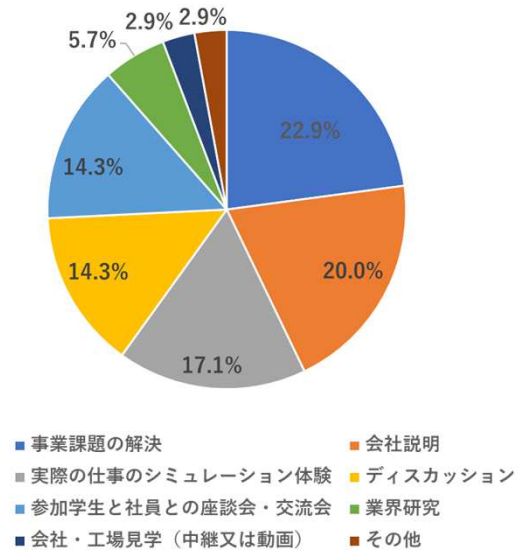
このプロセスを通して、各事業者人事担当の大学生との関係性の築き方についても、アップデートし、今後の採用活動に繋げていただく。また、若手社員の皆様の研修の場としても活用していただきたい。

◆実施スケジュール

	実施項目	内容
7月	企画 プログラム構築①	ヒアリング、企画立案、オンラインインターンシッププログラム構築
8月上旬 ～	参加者募集①	夏期プログラム 参加学生の募集
9月	実証実施（夏期）	3～5 Dayのオンラインインターンシッププログラムを実施/ 効果検証
11月～	企画 プログラム構築②	ヒアリング、企画立案、オンラインインターンシッププログラム構築
12～1月	参加者募集②	冬期プログラム 参加学生の募集 ※募集のタイミングは実証実施時期の1～2カ月前。
2月	実証実施	3～5 Dayのオンラインインターンシッププログラムを実施 / 効果検証
3月上旬	成果報告会	実証報告会の開催（受入先6社合同実施予定）

◆ 学生向けアンケートの結果（R3事業のアンケートから）

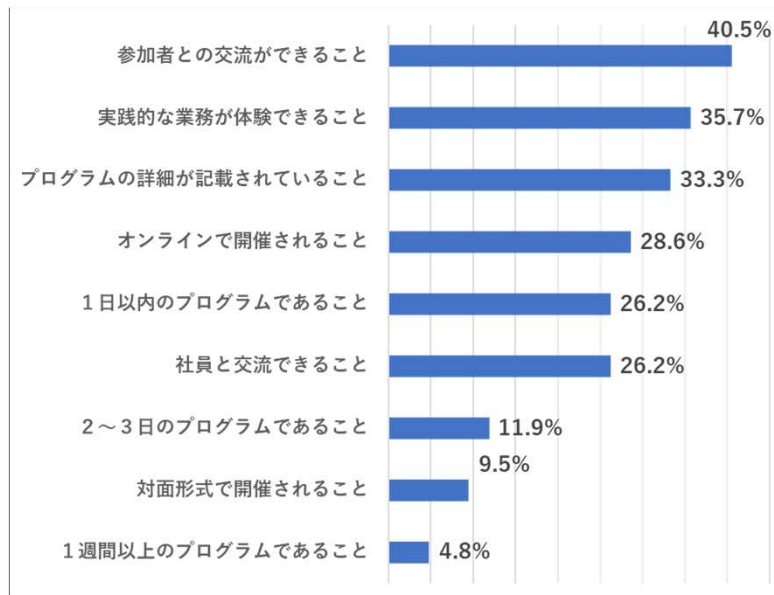
・オンラインインターンシップにおいて体験したプログラムの中で、**最も**満足度が高かったものを教えてください。



事業課題の解決	8	22.9%
会社説明	7	20.0%
実際の仕事のシミュレーション体験	6	17.1%
ディスカッション	5	14.3%
参加学生と社員との座談会・交流会	5	14.3%
業界研究	2	5.7%
会社・工場見学（中継又は動画）	1	2.9%
その他※	1	2.9%
合計	35	

◆ 学生向けアンケートの結果（R3事業のアンケートから）

・インターンシップに申し込む際に何を重視しましたか（複数回答可）



- 企業とのコミュニケーションだけでなく、同じく就職活動に臨んでいる仲間との交流を求めている。
- 単なる会社説明や、ちょっとした職場体験ではなく、実践的な業務へのチャレンジができることよい
- 日数や対面かどうかなどはあまり重要ではなく、プログラムの中身が重要である。

◆ 学生向けアンケートの結果（R3事業のアンケートから）

・オンラインインターンシップにおいて企業に求めることがあればご記載ください。

(1) 進行や時間配分について

- ・休憩時間を多めにしてほしい。
- ・進行をスムーズに行ってほしい。
- ・回線の影響で聞き取りづらいことがある。
- ・参加者の当事者意識を高める立ち回りをしてほしい。
- ・時間管理を徹底してほしい。
- ・参加者が複数いる場合は、ルームを分けるなどの対策をとってほしい。

(2) プログラムについて

- ・自分で実際に手を動かして考えたい。
- ・フィードバックが欲しい。
- ・説明を聞かせるだけでなく、対話形式を取り入れて欲しい。
- ・企業の方とのコミュニケーションを取る機会を増やして欲しい。
- ・数人のグループでの交流会をする機会があれば緊張がほぐれると思う。



— 今回の取組内容について —

◆実際のプログラムのご紹介

夏プログラム

◆青森リバーテクノ株式会社 / R4年9月6,12,20日

『求む大学生！とにかく一度工場見学に来てほしい！！水晶デバイスメーカーの新たな学生集客方法を提案せよ！』

◆弘果総合研究開発株式会社 / R4年9月5,16日,10月1,8日

『君の大学で、Webサイト「りんご大学」をバズらせよう！りんご大学の認知を向上させる、新たな企画を提案せよ！』

◆株式会社小坂工務店 / R4年9月14,21日,10月6日

『ただの工務店では終われない！〇〇工務店のイメージを刷新する、新たな発信方法を提案せよ！』

冬プログラム

◆有限会社中村建設 / R5年2月9,14,24日

『地域の社会基盤を支える土木建設会社の強みを生かした、地域ブランディングのアイデアを提案せよ！』

◆社会福祉法人千年会 / R5年2月9,14,20日

『地域に貢献する社会福祉法人・千年会が、多様な人材を巻き込んで実施する、新しい地域活性化プラン（事業）を提案せよ！』

◆株式会社ムジコ・クリエイト / R5年2月15,20,27日

『自動車教習所だからこそできる、SDGsの取組を提案せよ！』

◆実際のプログラムのご紹介

◆青森リバーテクノ株式会社 / R4年9月6,12,20日

『求む大学生！とにかく一度工場見学に来てほしい！！水晶デバイスメーカーの新たな学生集客方法を提案せよ！』

各部署から5名が常時参加し、オンライン工場見学も交えながら、学生に工場見学集客へのアイデアを検討してもらった。終了後には参加者の名前を刻印した、水晶のネームプレートをプレゼントした。



◆実際のプログラムのご紹介

◆弘果総合研究開発株式会社 / R4年9月5,16日,10月1,8日

『君の大学で、Webサイト「りんご大学」をバズらせよう！りんご大学の認知を向上させる、新たな企画を提案せよ！』

WEBサイト「りんご大学」の企画を練るにあたり、担当者へのインタビューだけでなく、社長以下全社員が出席する定例会議にも参加してもらい、より深い企業の理解へとつなげた。



◆実際のプログラムのご紹介

◆株式会社小坂工務店 / R4年9月14,21日,10月6日

『ただの工務店では終われない！〇〇工務店のイメージを刷新する、新たな発信方法を提案せよ！』

幅広い事業内容を理解してもらうため、全日程に全部署から担当者が参加した。学生からの発表会は業務終了後の夜に設定し、多くの役員が提案を聞けるよう工夫した。



◆実際のプログラムのご紹介

◆有限会社中村建設 / R5年2月9,14,24日

『地域の社会基盤を支える土木建設会社の強みを生かした、地域ブランディングのアイデアを提案せよ!』

社長が全日程に参加し、その場で学生からの企画をブラッシュアップしながら、インターンシップ期間内に企画実行に向けた道筋をつけた。終了後もslackによる活発なやり取りを行った。



◆実際のプログラムのご紹介

◆社会福祉法人千年会 / R5年2月9,14,20日

『地域に貢献する社会福祉法人・千年会が、多様な人材を巻き込んで実施する、新しい地域活性化プラン（事業）を提案せよ！』

いわゆる介護の仕事に従事している方ではなく、コミュニティづくりや地域づくりなど、少し違った面から事業に取り組んでいる方が担当することで、介護の仕事を多面的に理解できた。

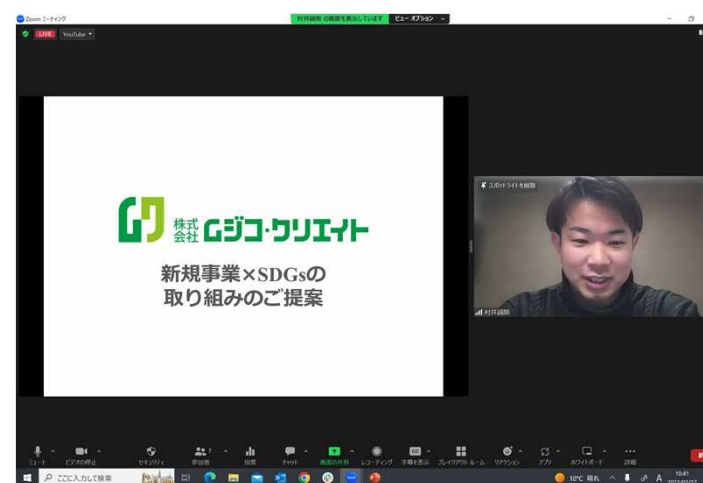


◆実際のプログラムのご紹介

◆株式会社ムジコ・クリエイト / R5年2月15,20,27日

『自動車教習所だからこそできる、SDG s の取組を提案せよ!』

発表会には事業部長にもご参加いただき、今回のメインプログラムではないものの現社員のリアルなキャリアパスについてお話いただくことで、学生との距離がぐっと近づいた。



◆オンラインインターンシップの構築方法(テンプレートの紹介)

DAY①

- 導入→アイスブレイク(自己紹介ワーク)→事業内容&業界動向に関するインプット→課題の提示→社員インタビュー(複数名)→振り返り

DAY②

- 導入→学生から仮説の共有→企業からのフィードバック→別テーマを設定したディスカッション→振り返り

DAY③

- 導入→学生のプレゼンテーション&フィードバック→ディスカッション
- →振り返り→終了

事後:スラック上でコミュニティを作り、発表スライドの納品。振り返り含めやりとりを継続



— 実証参加企業・学生による —
成果発表

◆参加者による成果発表

企業担当者

木村さま/青森リバーテクノ株式会社
五十嵐様・古川様/弘果総合研究開発株式会社
上野さま/株式会社小坂工務店
中村さま/有限会社中村建設
小林様・井澤さま/社会福祉法人千年会

学生参加者

石澤さん/小向さん/蝦名さん/田中さん



ディスカッション

—— 「地方企業におけるオンライン
インターンシップの可能性について」 ——

◆ディスカッション

—— ディスカッション ——

地方企業におけるオンライン インターンシップの可能性について (20分)

成果報告を聞いての感想の共有
自社ではこんな取り組みができそうだな など

— お願い —

アンケートへのご協力を
お願いいたします。

<https://forms.gle/g4Em73rWKN7NhttS6>

